

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2000-35847
(P2000-35847A)

(43) 公開日 平成12年2月2日(2000.2.2)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	ターマート* (参考)
G 0 6 F 3/00	6 5 6	G 0 6 F 3/00	6 5 6 A 5 B 0 6 9
3/14	3 6 0	3/14	3 6 0 A

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平10-203222

(22) 出願日 平成10年7月17日(1998.7.17)

(71) 出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72) 発明者 吉村 斉

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

(74) 代理人 100075502

弁理士 倉内 義朗

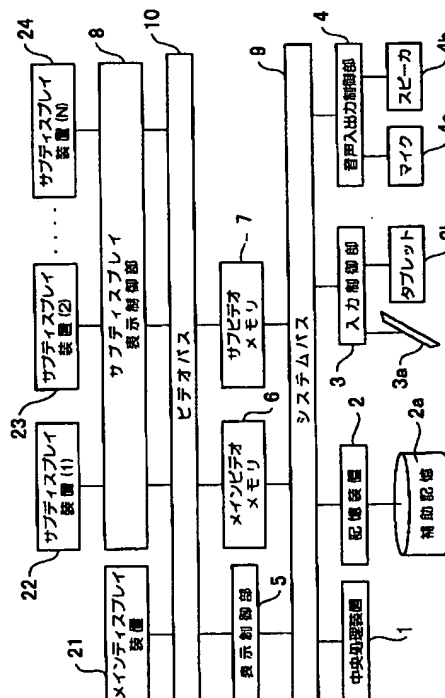
Fターム(参考) 5B069 CA06 CA14 KA02

(54) 【発明の名称】 多画面制御可能な情報処理装置

(57) 【要約】

【課題】 相互に接続されたメインディスプレイ装置と複数のサブディスプレイ装置との使い勝手を向上させる。

【解決手段】 表示制御部5及びサブディスプレイ表示制御部8は、メインディスプレイ装置21の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面を、複数台のサブディスプレイ装置22、23、24の画面上に個別に表示し、またメインディスプレイ装置21の画面上に表示された1つのアプリケーションウィンドウ画面を、複数台のサブディスプレイ装置22、23、24の画面上にそれぞれ表示するといった制御を行う。また、メインディスプレイ装置に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面から1つのアプリケーションウィンドウ画面を選択し、この選択したアプリケーションウィンドウ画面を表示させるサブディスプレイ装置を指定するといった制御なども行う。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 表示装置を複数台接続できる情報処理装置において、

任意の 1 台の表示装置をメインディスプレイ装置とし、他の複数台の表示装置をそれぞれサブディスプレイ装置とすると、

前記メインディスプレイ装置の画面上にマルチウィンドウ機能により表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面を、前記複数台のサブディスプレイ装置の画面上に個別に表示する個別表示手段を備えたことを特徴とする多画面制御可能な情報処理装置。

【請求項 2】 前記メインディスプレイ装置の画面上に表示された 1 つのアプリケーションウィンドウ画面を、前記複数台のサブディスプレイ装置の画面上にそれぞれ表示する単一表示手段を備えてなる請求項 1 に記載の多画面制御可能な情報処理装置。

【請求項 3】 前記メインディスプレイ装置に、マルチウィンドウ機能により表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面から 1 つのアプリケーションウィンドウ画面を選択する画面選択手段と、この画面選択手段により選択されたアプリケーションウィンドウ画面を表示させるサブディスプレイ装置を指定する装置指定手段とを備えてなる請求項 1 又は 2 に記載の多画面制御可能な情報処理装置。

【請求項 4】 前記メインディスプレイ装置に、画面上の領域を指定する領域指定手段と、この領域指定手段によって指定された領域に表示されているアプリケーションウィンドウ画面を表示させるサブディスプレイ装置を指定する装置指定手段とを備えてなる請求項 1、2 又は 3 に記載の多画面制御可能な情報処理装置。

【請求項 5】 前記画面選択手段及び装置指定手段の操作機能をメインディスプレイ装置から任意のサブディスプレイ装置に移譲する移譲手段を備えてなる請求項 3 に記載の多画面制御可能な情報処理装置。

【請求項 6】 前記領域指定手段及び装置指定手段の操作機能をメインディスプレイ装置から任意のサブディスプレイ装置に移譲する移譲手段を備えてなる請求項 4 に記載の多画面制御可能な情報処理装置。

【請求項 7】 メインディスプレイ装置又は操作機能を移譲されたサブディスプレイ装置に、他のディスプレイ装置の画面上に表示されたアプリケーションウィンドウ画面を縮小又は拡大する縮小／拡大手段を備えてなる請求項 1、2、3、4、5 又は 6 に記載の多画面制御可能な情報処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、複数台の表示装置を接続できる情報処理装置（例えば、POS、パーソナルコンピュータ、ペンコンピュータ、ワードプロセッ

サ、ワークステーション等）に係り、より詳細には、多画面の制御が可能な情報処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の情報処理装置は、基本的に一人の利用者を想定しているが、複数での利用を対象とするものとして、通信機能を利用した TV 会議システムがある。

【0003】 また、多画面制御を行う場合、従来は、メインディスプレイ装置とサブディスプレイ装置とが同じ表示を行うものが一般的であるが、複数台のディスプレイ装置を 1 つの画面として操作できるようにした多画面制御可能な情報処理装置も提案されている。

【0004】 例えば、特開平 6-282405 号公報に記載のものは、参加者映像表示ウィンドウを見やすく制御するものであって、通信参加者の参加状態を検知して、参加者映像表示ウィンドウの適切な表示形態を決定し、ウィンドウをその決定した表示形態に制御するようになっている。

【0005】 また、特開平 6-311428 号公報に記載のものは、多画面表示する際の画面の選択、切り換え、多画面表示から単画面表示への切り換え等を行う場合に、対象とする画面がどの画面になっているかをオンスクリーン表示により明確に示すことによって、これら操作を行いやすくするものである。

【0006】 また、特開平 6-332653 号公報に記載のものは、アプリケーションプログラムウィンドウの切り換え時の作業効率の向上を図るものであって、全てのアプリケーションプログラムに対応する現在の動作状態一覧を常時表示するサブウィンドウを設けることによって、アプリケーションプログラムの動作状態をタイムリーに把握できるようにしたものである。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 このような従来の多画面制御可能な情報処理装置を、例えばカウンタ業務を行う場所で利用する場合、以下に示す種々の問題があった。

【0008】 オペレータ側の画面と顧客側の画面とが同じであったり、又はそれぞれの画面が連動していないため、スムーズな対話が行えない。オペレータ側ディスプレイ装置（以下、メインディスプレイ装置という）の画面の中に顧客に見せたくない情報や見せる必要のない情報があった場合に、必要な情報だけを顧客側ディスプレイ装置（以下、サブディスプレイ装置という）に表示させることができない。複数のサブディスプレイ装置に必要な情報だけを別々に表示させることができない。又は、複数のサブディスプレイ装置に同じ画面を表示させることができない。メインディスプレイ装置において複数のサブディスプレイ装置の表示内容をワンタッチで迅速に切り換えることができない。メインディスプレイ装置上の指定した任意の領域をサブディスプレイ装置に効

率的に表示させることができない。メインディスプレイ装置での操作を、サブディスプレイ装置で代替操作することができない。メインディスプレイ装置及びサブディスプレイ装置において、他のディスプレイ装置に表示される画面の拡大、縮小が行えない。

【0009】本発明はこのような問題点を解決すべく創案されたものであって、その目的は、必要な情報だけをサブディスプレイ装置に表示可能とし、複数のサブディスプレイ装置に必要な情報だけを別々に表示可能とし、複数のサブディスプレイ装置に同じ画面を表示可能とし、複数のサブディスプレイ装置の表示内容をワンタッチで迅速に切り換え可能とし、メインディスプレイ装置上の指定した任意の領域をサブディスプレイ装置に効率的に表示可能とし、メインディスプレイ装置での操作を、サブディスプレイ装置で代替操作可能とし、任意のディスプレイ装置において他のディスプレイ装置に表示される画面の拡大、縮小を可能とした多画面制御可能な情報処理装置を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明の請求項1に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、表示装置を複数台接続できる情報処理装置において、任意の1台の表示装置をメインディスプレイ装置とし、他の複数台の表示装置をそれぞれサブディスプレイ装置とすると、前記メインディスプレイ装置の画面上にマルチウィンドウ機能により表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面を、前記複数台のサブディスプレイ装置の画面上に個別に表示する個別表示手段を備えた構成とする。

【0011】また、本発明の請求項2に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、請求項1に記載のものにおいて、前記メインディスプレイ装置の画面上に表示された1つのアプリケーションウィンドウ画面を、前記複数台のサブディスプレイ装置の画面上にそれぞれ表示する単一表示手段を備えた構成とする。

【0012】また、本発明の請求項3に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、請求項1又は2に記載のものにおいて、前記メインディスプレイ装置に、マルチウィンドウ機能により表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面から1つのアプリケーションウィンドウ画面を選択する画面選択手段と、この画面選択手段により選択されたアプリケーションウィンドウ画面を表示させるサブディスプレイ装置を指定する装置指定手段とを備えた構成とする。

【0013】また、本発明の請求項4に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、請求項1、2又は3に記載のものにおいて、前記メインディスプレイ装置に、画面上の領域を指定する領域指定手段と、この領域指定手段によって指定された領域に表示されているアプリケーションウィンドウ画面を表示させるサブディスプレイ装置を

指定する装置指定手段とを備えた構成とする。

【0014】また、本発明の請求項5に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、請求項3に記載のものにおいて、前記画面選択手段及び装置指定手段の操作機能をメインディスプレイ装置から任意のサブディスプレイ装置に移譲する移譲手段を備えた構成とする。

【0015】また、本発明の請求項6に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、請求項4に記載のものにおいて、前記領域指定手段及び装置指定手段の操作機能をメインディスプレイ装置から任意のサブディスプレイ装置に移譲する移譲手段を備えた構成とする。

【0016】また、本発明の請求項7に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、請求項1、2、3、4、5又は6に記載のものにおいて、メインディスプレイ装置又は操作機能を移譲されたサブディスプレイ装置に、他のディスプレイ装置の画面上に表示されたアプリケーションウィンドウ画面を縮小又は拡大する縮小／拡大手段を備えた構成とする。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して説明する。

【0018】図1は、本発明の多画面制御可能な情報処理装置のシステム構成を示すブロック図である。

【0019】この情報処理装置は、基本的には、中央処理装置1、補助記憶装置2aを含む記憶装置2、ペン3aやタブレット3bなどのポインティングデバイスの入力を制御する入力制御部3、マイク4aやスピーカ4bを制御するための音声入出力制御部4を備え、かつ、メインディスプレイ装置21と複数台のサブディスプレイ装置22、23、・・・、24とが接続されている。そのため、それぞれのディスプレイ装置21～24を制御するための表示制御部5、メインディスプレイ装置21の表示内容をマッピングするためのメインビデオメモリ6、サブディスプレイ装置22～24の表示内容をマッピングするためのサブビデオメモリ7、サブディスプレイ装置22～24を制御するためのサブディスプレイ表示制御部8を備えており、これら制御部及び装置がシステムバス9及びビデオバス10によってそれぞれ双方向に接続され、相互にデータ通信が行えるようになっている。

【0020】図2は、本発明の多画面制御可能な情報処理装置の基本ソフトウェア構成を示している。

【0021】複数のアプリケーション31～33は、OS（オペレーティングシステム）などの基本ソフトウェア34によって制御される。基本ソフトウェア34は、中央処理装置1、補助記憶装置2aを含む制御装置2を制御するための補助記憶ドライバ35、音声入出力制御部4などを制御するためのその他デバイス制御ドライバ36、表示制御部5を制御するためのディスプレイ制御ドライバ37から構成されており、ディスプレイ制御ド

5

ライバ 37 は、入力制御部 3 を制御するためのポインティングデバイス制御ドライバ 38、及びサブディスプレイ表示制御部 8 を制御するためのサブディスプレイ制御ドライバ 39 を備えている。

【0022】図 3 は、メインビデオメモリ 6 の構成例を示している。図中の符号 61 は、メインビデオメモリのメモリ領域を示し、メインディスプレイ装置 21 に表示される表示情報を登録する表示情報メモリ領域 62 と、その中に表示されるアプリケーションウィンドウ 62a、62b、62c に対応付けられるアプリケーション 31、32、33 によって表示される全データを個別に確保する個別メモリ領域 63、64、65 と、後述する操作ボタンを画面上に表示するためのボタン情報を登録するボタン情報メモリ領域 66 と、メインディスプレイ制御情報を登録するメモリ領域 67 と、サブディスプレイ制御情報を登録するメモリ領域 68 とで構成されている。ただし、図 3 に示す内容は、後述する図 12 に示す表示例の内容を登録した状態を示している。

【0023】図 4 は、サブビデオメモリ 7 の構成例を示している。図中の符号 71 は、サブビデオメモリのメモリ領域を示し、接続されたサブディスプレイ装置 22、23、24 に対応する数のヘッダ情報をそれぞれ登録するヘッダ情報メモリ領域 73、75、77 及びこれらヘッダ情報に続く表示情報をそれぞれ登録する表示情報メモリ領域 74、76、78 と、どのサブディスプレイ装置 22、23、24 にどの表示情報メモリ領域 74、76、78 に登録されている表示情報を表示するかといったフォーマット情報などを含むサブビデオ制御情報を登録するメモリ領域 72 とで構成されている。ただし、図 4 に示す内容は、後述する図 9 又は図 10 に示す表示例の内容を登録した状態を示している。

【0024】図 5 は、このような構成の情報処理装置における基本的な制御動作を説明するフローチャートである。

【0025】多画面表示制御動作が開始されると、表示制御部 5 が動作を開始し（ステップ S1）、図 2 に示す基本ソフトウェア構成の各アプリケーション 31、32、33 が、基本ソフトウェア 34 を通じてディスプレイ制御ドライバ 37 により実行される。そして、画面表示に変更があれば、すなわちリフレッシュされれば（ステップ S2）、その変更情報に基づき、サブビデオメモリ 7 に変更後のディスプレイ情報を転送する（ステップ S3）。転送されたディスプレイ情報は、サブビデオメモリ 7 内の所定の領域に格納される（ステップ S4）。また、サブディスプレイ表示制御部 8 は、表示制御部 5 でサブビデオメモリ 7 へのディスプレイ情報の転送が発生するたびに、転送されたサブビデオメモリ 7 のディスプレイ情報に従って、各サブディスプレイ装置 22、23、24 への画面表示を変更する（ステップ S5）。このような処理が、多画面表示の制御動作が終了するまで

6

繰り返される（ステップ S6）。

【0026】次に、上記構成の情報処理装置における多画面表示制御動作について、図 6 ないし図 12 を参照して具体的に説明する。

【0027】図 6 は、メインディスプレイ装置 21 の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面 21a、21b、21c を、各サブディスプレイ装置 22、23、24 の画面上に個別に表示した例を示しており、請求項 1 に対応している。

【0028】すなわち、アプリケーションウィンドウ画面 21a がサブディスプレイ装置 22 の画面上に表示され、アプリケーションウィンドウ画面 21b がサブディスプレイ装置 23 の画面上に表示され、アプリケーションウィンドウ画面 21c がサブディスプレイ装置 24 の画面上に表示されている。この場合、サブビデオメモリ 7 には、ヘッダ情報メモリ領域 73 にサブディスプレイ装置 22 のヘッダ情報が登録され、これに続く表示情報メモリ領域 74 にアプリケーション 31 によって表示されるアプリケーションウィンドウ画面 21a の情報が登録され、ヘッダ情報メモリ領域 75 にサブディスプレイ装置 23 のヘッダ情報が登録され、これに続く表示情報メモリ領域 76 にアプリケーション 32 によって表示されるアプリケーションウィンドウ画面 21b の情報が登録され、ヘッダ情報メモリ領域 77 にサブディスプレイ装置 24 のヘッダ情報が登録され、これに続く表示情報メモリ領域 78 にアプリケーション 33 によって表示されるアプリケーションウィンドウ画面 21c の情報が登録されている。

【0029】図 7 は、メインディスプレイ装置 21 の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面 21a、21b、21c の中の 1 つのアプリケーションウィンドウ画面 21c を、各サブディスプレイ装置 22、23、24 の画面上にそれぞれ表示した例を示しており、請求項 2 に対応している。

【0030】この場合、サブビデオメモリ 7 には、ヘッダ情報メモリ領域 73 にサブディスプレイ装置 22 のヘッダ情報が登録され、これに続く表示情報メモリ領域 74 にアプリケーション 33 によって表示されるアプリケーションウィンドウ画面 21c の情報が登録され、ヘッダ情報メモリ領域 75 にサブディスプレイ装置 23 のヘッダ情報が登録され、これに続く表示情報メモリ領域 76 にアプリケーション 33 によって表示されるアプリケーションウィンドウ画面 21c の情報が登録され、ヘッダ情報メモリ領域 77 にサブディスプレイ装置 24 のヘッダ情報が登録され、これに続く表示情報メモリ領域 78 にアプリケーション 33 によって表示されるアプリケーションウィンドウ画面 21c の情報が登録されている。

【0031】図 8 は、メインディスプレイ装置 21 の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画

7

面 21a、21b、21c を、各サブディスプレイ装置 22、23、24 の画面上に個別に表示した例を示しており、請求項 3 に対応している。ここで、サブディスプレイ装置 22 の識別子を D1、サブディスプレイ装置 23 の識別子を D2、サブディスプレイ装置 24 の識別子を D3 とすると、メインディスプレイ装置 21 に表示された各アプリケーションウィンドウ画面 21a、21b、21c には、その画面がどのサブディスプレイ装置 22、23、24 に表示されているかを示すタイトル画面 211、212、213 が表示されている。

【0032】すなわち、タイトル画面 211 の (W1=D3) は、アプリケーションウィンドウ画面 21a (アプリケーションウィンドウ識別子 W1) がサブディスプレイ装置 24 (サブディスプレイ識別子 D3) に表示されていることを示し、タイトル画面 212 の (W2=D2) は、アプリケーションウィンドウ画面 21b (アプリケーションウィンドウ識別子 W2) がサブディスプレイ装置 23 (サブディスプレイ識別子 D2) に表示されていることを示し、タイトル画面 213 の (W3=D1) は、アプリケーションウィンドウ画面 21c (アプリケーションウィンドウ識別子 W3) がサブディスプレイ装置 22 (サブディスプレイ識別子 D1) に表示されていることを示している。

【0033】また、メインディスプレイ装置 21 に表示されている [D1] ボタン 214、[D2] ボタン 215、[D3] ボタン 216 は、どのアプリケーションウィンドウ画面 21a、21b、21c を、どのサブディスプレイ装置 22、23、24 に表示するかを指定するボタンである。すなわち、ペン 3a やタブレット 3b などのポインティングデバイスを使い、アプリケーションウィンドウ画面 21a、21b、21c と各ボタン 214、215、216 とを交互に操作することにより、サブディスプレイ装置 22、23、24 に表示させるアプリケーションウィンドウ画面 21a、21b、21c を指定することができる。例えば、図の例で言えば、ペン 3a 等でアプリケーションウィンドウ画面 21a をタッチし、次に [D3] ボタン 216 をタッチした結果、アプリケーションウィンドウ画面 21a のタイトル画面 212 に (W1=D3) が表示され、サブディスプレイ装置 24 にアプリケーションウィンドウ画面 21a が表示されている。

【0034】図 9 は、メインディスプレイ装置 21 の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面 21a、21b、21c のうち、アプリケーションウィンドウ画面 21b、21c を対応する各サブディスプレイ装置 23、24 の画面上に個別に表示するとともに、メインディスプレイ装置 21 の画面上で指定した領域 (破線により示す) 71 の情報をサブディスプレイ装置 22 の画面上に表示した例を示しており、請求項 4 に対応している。

8

【0035】すなわち、メインディスプレイ装置 21 の表示画面中に破線で示した領域 71 は、サブディスプレイ装置 22 に表示する情報を選択した領域であることを示している。選択に際しては、ペン 3a やタブレット 3b などのポインティングデバイスでスタート位置 S からエンド位置 E までの領域 71 を指定する。このとき、[D1] ボタン 214 を押していれば、サブディスプレイ装置 22 にメインディスプレイ装置 21 の領域 71 の情報が表示されることになる。つまり、[D2] ボタン 215 を押していれば、サブディスプレイ装置 23 にメインディスプレイ装置 21 の領域 71 の情報が表示され、

[D3] ボタン 216 を押していれば、サブディスプレイ装置 24 にメインディスプレイ装置 21 の領域 71 の情報が表示されることになる。

【0036】図 10 はメインディスプレイ装置 21 が操作対象となっている例、図 11 はサブディスプレイ装置 22 が操作対象となっている例をそれぞれ示しており、請求項 5 及び 6 に対応している。

【0037】すなわち、図 10 に示すメインディスプレイ装置 21 の画面上に設けられた [Swap] ボタン 217 と [D1] ボタン 214 とを操作することにより、図 10 に示すメインディスプレイ装置 21 の表示画面全体が、図 11 に示すようにサブディスプレイ装置 22 に画面遷移 (操作移譲) され、図 10 に示すサブディスプレイ装置 22 の表示画面が、図 11 に示すメインディスプレイ装置 21 に画面遷移されている。

【0038】このとき、サブディスプレイ装置 22 の画面には、図 11 に示すように、メインディスプレイ装置 21 の識別子である MD1 が、[D1] ボタン 214 の元あった位置に、[MD1] ボタン 214' として表示される。また、この場合、サブディスプレイ装置 22 がメインディスプレイ装置として働き、メインディスプレイ装置がサブディスプレイ装置として働くことになる。これにより、サブディスプレイ装置 22 の画面上で操作することにより、メインディスプレイ装置 21 の画面上で操作したと同様に、他のディスプレイ装置 21、23、24 の表示情報を操作することが可能となる。

【0039】なお、サブディスプレイ装置 22 の画面上の [Swap] ボタン 217 と他のボタン (例えば、[D2] ボタン 215) とを操作することにより、サブディスプレイ装置 22 の表示画面全体を、他のディスプレイ装置 (サブディスプレイ装置 23) に画面遷移 (操作移譲) することができる。

【0040】図 12 は、メインディスプレイ装置 21 の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面 21a、21b、21c のうち、アプリケーションウィンドウ画面 21b、21c を対応する各サブディスプレイ装置 23、24 の画面上に個別に表示するとともに、メインディスプレイ装置 21 の画面上で指定した領域 71 の情報をサブディスプレイ装置 22 の画面上に表

示した例を示しており、請求項 7 に対応している。

【0041】すなわち、メインディスプレイ装置 21 の画面上に設けられた [Swap] ボタン 217 の横に、各サブディスプレイ装置 22、23、24 の画面上に表示されたアプリケーションウィンドウ画面を縮小、拡大する [縮小] ボタン 218 及び [拡大] ボタン 219 を設けている。

【0042】 [縮小] ボタン 218 及び [拡大] ボタン 219 の操作は次のようにして行う。すなわち、 [縮小] ボタン 218 又は [拡大] ボタン 219 を操作後（又は操作と同時に）、例えば [D1] ボタンを操作すると、サブディスプレイ装置 22 の表示が縮小又は拡大される。また、 [縮小] ボタン 218 又は [拡大] ボタン 219 を操作後（又は操作と同時に）、 [D2] ボタンを操作すると、サブディスプレイ装置 23 の表示が縮小又は拡大され、 [縮小] ボタン 218 又は [拡大] ボタン 219 を操作後（又は操作と同時に）、 [D3] ボタンを操作すると、サブディスプレイ装置 24 の表示が縮小又は拡大される。

【0043】

【発明の効果】本発明の請求項 1 に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、メインディスプレイ装置の画面上にマルチウィンドウ機能により表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面を、複数台のサブディスプレイ装置の画面上に個別に表示するように構成したので、メインディスプレイ装置の画面上に、顧客に見せたくない情報や見せる必要のない情報があった場合に、必要な情報だけを顧客側のサブディスプレイ装置に表示させることができる。また、複数のサブディスプレイ装置に必要な情報だけを別々に表示させることができる。

【0044】また、本発明の請求項 2 に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、メインディスプレイ装置の画面上に表示された 1 つのアプリケーションウィンドウ画面を、複数台のサブディスプレイ装置の画面上にそれぞれ表示するように構成したので、複数のサブディスプレイ装置に同じ画面を表示させることができる。

【0045】また、本発明の請求項 3 に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、メインディスプレイ装置に、マルチウィンドウ機能により表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面から 1 つのアプリケーションウィンドウ画面を選択し、この選択したアプリケーションウィンドウ画面を表示させるように構成したので、メインディスプレイ装置において複数のサブディスプレイ装置の表示内容をワンタッチで迅速に切り換えることができる。

【0046】また、本発明の請求項 4 に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、メインディスプレイ装置に、画面上の領域を指定する領域指定手段と、この領域指定手段によって指定された領域に表示されているアプリケーションウィンドウ画面を表示させるサブディスプレイ

装置を指定する装置指定手段とを備えた構成としたので、メインディスプレイ装置上の指定した任意の領域をサブディスプレイ装置に効率的に表示させることができる。

【0047】また、本発明の請求項 5 に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、画面選択手段及び装置指定手段の操作機能をメインディスプレイ装置から任意のサブディスプレイ装置に移譲する移譲手段を備えた構成としたので、メインディスプレイ装置での操作を、サブディスプレイ装置で代替え操作することができる。

【0048】また、本発明の請求項 6 に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、領域指定手段及び装置指定手段の操作機能をメインディスプレイ装置から任意のサブディスプレイ装置に移譲する移譲手段を備えた構成としたので、メインディスプレイ装置での操作を、サブディスプレイ装置で代替え操作することができる。

【0049】また、本発明の請求項 7 に記載の多画面制御可能な情報処理装置は、メインディスプレイ装置又は操作機能を移譲されたサブディスプレイ装置に、他のディスプレイ装置の画面上に表示されたアプリケーションウィンドウ画面を縮小又は拡大する縮小／拡大手段を備えた構成としたので、メインディスプレイ装置及びサブディスプレイ装置において、他のディスプレイ装置に表示される画面の拡大、縮小が行える。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の多画面制御可能な情報処理装置のシステム構成を示すブロック図である。

【図 2】本発明の多画面制御可能な情報処理装置の基本ソフトウェア構成を示す説明図である。

【図 3】メインビデオメモリの構成図である。

【図 4】サブビデオメモリの構成図である。

【図 5】本発明の情報処理装置における基本的な制御動作を説明するフローチャートである。

【図 6】メインディスプレイ装置の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面を、各サブディスプレイ装置の画面上に個別に表示した例を示す説明図である。

【図 7】メインディスプレイ装置の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面の中の 1 つのアプリケーションウィンドウ画面を、各サブディスプレイ装置の画面上にそれぞれ表示した例を示す説明図である。

【図 8】メインディスプレイ装置の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面を、各サブディスプレイ装置の画面上に個別に表示した例を示す説明図である。

【図 9】メインディスプレイ装置の画面上に表示された複数のアプリケーションウィンドウ画面を、各サブディスプレイ装置の画面上に個別に表示した例を示す説明図である。

【図10】メインディスプレイ装置が操作対象となっている状態を示す説明図である。

【図11】1つのサブディスプレイ装置が操作対象となっている状態を示す説明図である。

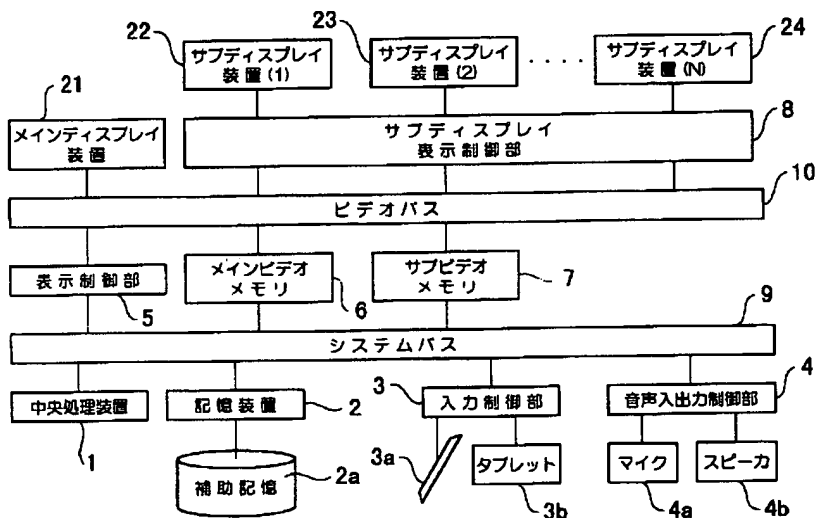
【図12】メインディスプレイ装置の画面上に縮小ボタン及び拡大ボタンを設けた例を示す説明図である。

【符号の説明】

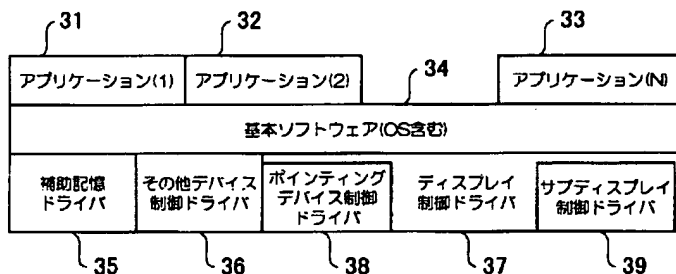
- 1 中央処理装置
2 記憶装置
2a 補助記憶装置

- 3 入力制御部
4 音声入出力制御部
5 表示制御部
6 メインビデオメモリ
7 サブビデオメモリ
8 サブディスプレイ表示制御部
21 メインディスプレイ装置（表示装置）
22、23、24 サブディスプレイ装置（表示装置）

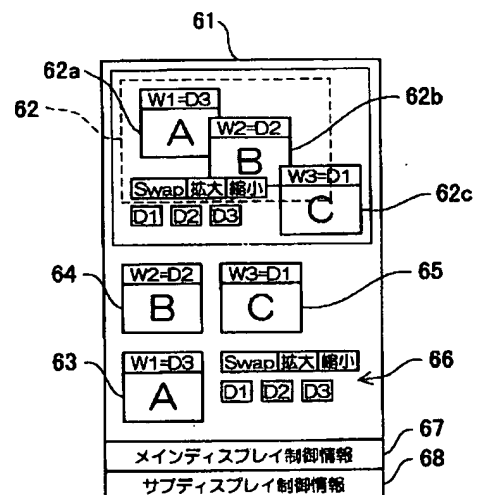
【図1】



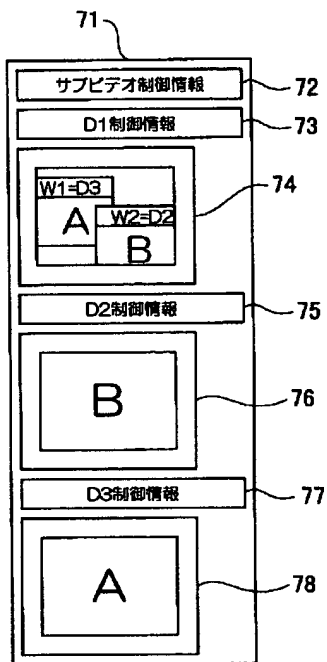
【図2】



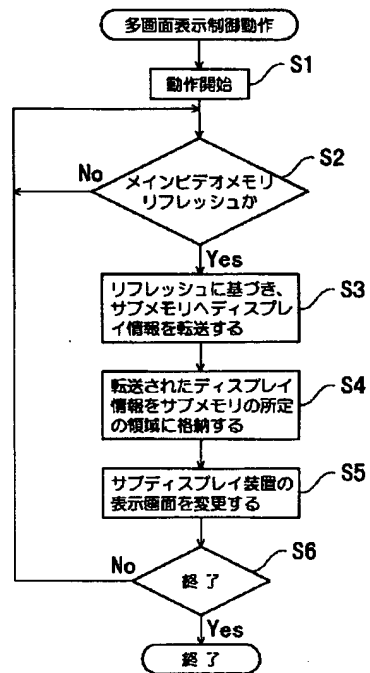
【図3】



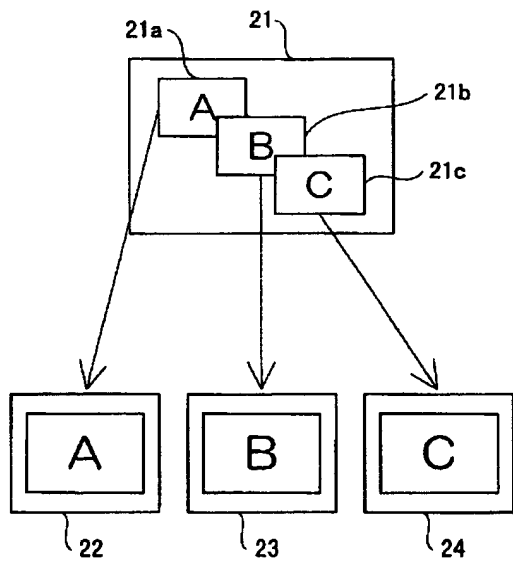
【図4】



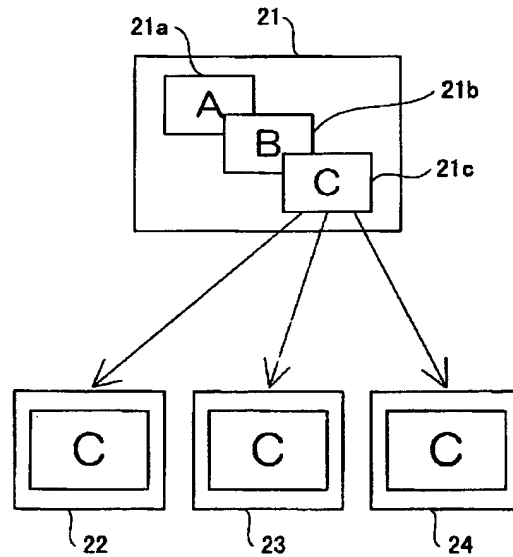
【図5】



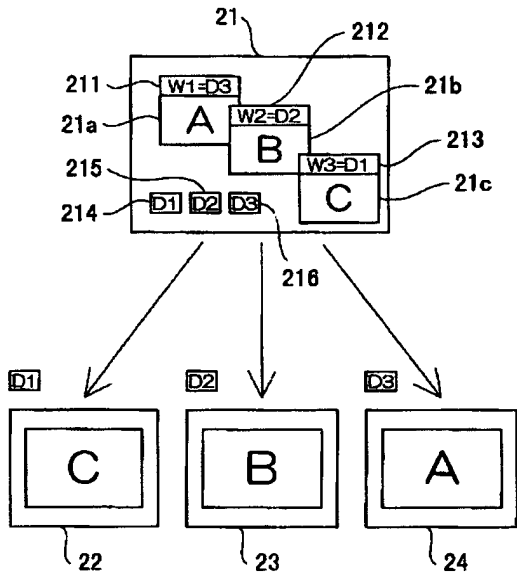
【図6】



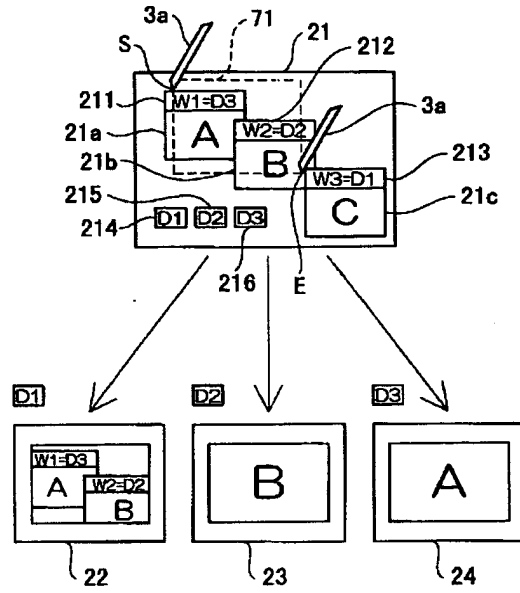
【図7】



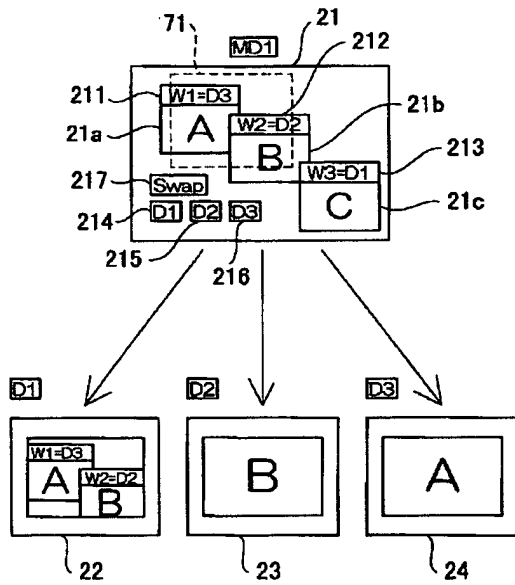
【図 8】



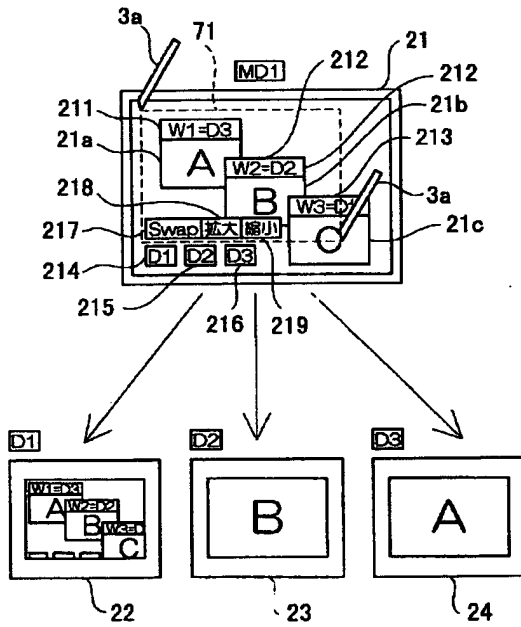
【図 9】



【図 10】



【図 12】



【図 11】

